

# 枕草子 ②

1 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

## 枕草子

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はたいふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりてわろし。

(第一段)

※句読点や符号も一字と数えます。

(1) a・bの意味をそれぞれ答えなさい。



(2) 線①とありますが、作者はどのような情景(様子)を「つきづきし」と言っているのですか。現代語で具体的に答えなさい。

(3) 線②とありますが、何がそうなっていくのですか。現代語で答えなさい。

(4) この古文では、風物を主に視覚でとらえています。一か所だけ聴覚でとらえているところがあります。その部分を古文中から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。


(5) 作者は、春と冬のはやは、一日のうちのいつごろにあると言っていますか。それぞれ現代語で答えなさい。



組 番 名前

かかった時間 正解数  
分

1

- (1) a 趣がある      b (例) とても
- (2) (例) 寒さの厳しい早朝に火を急いでおこして炭を持って(ろう下などを)通っていく情景(様子)。
- (3) (例) 寒さ
- (4) 日入りはて
- (5) 春―(例) 明け方    冬―(例) 早朝

間違った問題を確認してみよう！

1

次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。  
 枕草子

春はあけぼの。やうやう、白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。  
 夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。  
 秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど、飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はたいふべきにあらず。  
 冬はつとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るもいとつきつきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりてわろし。

(第一段)

※句読点や符号も一字と数えます。  
 (1) a・bの意味をそれぞれ答えなさい。

(2) 線①とありますが、作者はどのような情景(様子)を「つきつきし」と言っているのですか。現代語で具体的に答えなさい。

(3) 線②とありますが、何がそうなっていくのですか。現代語で答えなさい。

(4) この古文では、風物を主に視覚でとらえています。一か所だけ聴覚でとらえているところがあります。その部分を古文の中から一文で探し、初めの五字を書き抜きなさい。

(5) 作者は、春と冬のよさは、一日のうちどのいつごろにあると言っていますか。それぞれ現代語で答えなさい。

春 \_\_\_\_\_

冬 \_\_\_\_\_
